

＜お知らせ＞

令和3年4月からわっかの活動が始まりました。もともと行っていたボランティア活動や相談事業とあわせて、社協への問い合わせも多くなってきました。

今までは、電話が主になっていましたが、時代にのり、若い世代に知ってもらえる良い機会としてアプリを利用してこうと思っています。

社協ではアプリを開発できないので、どこかにお願いしなければなりませんでしたが今回**北海道情報大学**のご協力のもと**アプリ**を開発していただけることになりました。

学生さんと交流をかねて開発することでお互い色々な意味での刺激になると感じています。今後アプリの開発だけではなく、色々な形の交流をしていけたらと考えています。

どんな形のアプリになるかわかりませんが、アプリをきっかけに新たな支え合い、気に掛け合いの関係が生まれたり素敵だなと思っています。

◆◆ ボランティアのお話 ◆◆

ボランティアのイメージと言えば、皆さん思い浮かべるものは、誰かに何かをしたり、ゴミ拾い等を思い浮かべるかもしれませんが、気持ちがあるがボランティアをすすめる時間がないと思ってしまうんですか？

買い支えというボランティアの形もあり、知らない間にボランティアをしているかもしれません。例えば、自分の地域のお店でお買い物や給油するだけでもボランティア活動になっています。安いかからといって違う地域のお店を使うことで、自分の地域からお店がなくなってしまうことです。自分の地域からお店がなくならないように、お店を使うことによって支えることにも繋がっています。喫煙者の方は、自分の地域でタバコを買うことでも地域貢献にも繋がっています。タバコ税は販売地域の税金収入にもなっています。

発行日

令和4年6月15日

発行

赤井川村たすけあい隊

事務局：赤井川村社会福祉協議会

〒046-0501

余市郡赤井川村字赤井川1318番地1

赤井川村デザインサービス内

TEL 0135-34-6068

E-mail:hirano @akaigawa-shakyo.or.jp



No.14

配食ボランティアの様子
毎週金曜日まごころ込めて作っています。

赤井川村生活支援体制整備協議体(赤井川村たすけあい隊)
赤井川村/赤井川村社会福祉協議会

配食ボランティアの会



現在10名の会員で毎週金曜日4~5名でお弁当を作っています。



皆さん楽しみながら、やりがいを増やして美味しく料理を作られています。配食カーブスを利用している方も、配食ボランティアの会で作られたお弁当を楽しみにしています。

配達の際も配食ボランティアの会の方が直接手渡しお話しを楽しみ交流にもなっています。



気に掛け合う関係にもなっています。



地域の助け合い・支え合い活動

雪が解け農家さんが忙しく準備をする頃に、わっかにも個人の方からおこしをしてくれませんかとおこしをありがとうございました。



わっか

今までわっかの活動メニューに畑おこしはなかったのですが、家庭菜園が運動やいきがいにもつながる為、どういった形で行うのが、支える側と支えられる側が安心して行えるのか協議体で話し合いました。これからも、いきいきと生活できるように寄り添っていきだいたいと思っています。まずはご連絡ください。



支え合い活動紹介



有償ボランティア活動